

今月の特集は「境界と接点」に関する研究開発の紹介です。これらの言葉は、構造や領域の「さかい」や、異なる物事が出会う、または一致する点を意味します。

鉄道は、車両が線路に沿って移動するシステムであることから、さまざまな境界や接点を有しています。架線・パンタグラフや車輪・レールの接触に起因する摩耗や損傷などの事象は、鉄道特有の境界問題の典型的な例として、しばしば取り上げられます。今月号では、さらに構造物や電気設備の境界、道路交

通との接点である踏切に関する取り組みについて紹介しています。また、横断的な技術分野という観点から物体の接触に起因する諸現象を扱う「トライボロジー」の技術解説を記載しました。このような諸問題の解決に際しては複数の分野のメンバーの協力が不可欠です。

さて、次号の特集は「新幹線50周年」です。世界初の高速鉄道を可能にしたキーテクノロジーについてご紹介させていただく予定です。どうぞご期待ください。(H.K)